

2012

Vol. 15

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJUJEN

豊
か
な
樹

F R U I T F U L L T R E E

豊
寿
園



Director of photography kyoumi kido

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



トピックス TOPICS

1 園長就任のご挨拶

日頃より特別養護老人ホーム豊寿園に対し、多くの方々の温かいご支援、ご協力を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。

この度、平成24年4月1日付で園長に就任しました。これまでは事務課長として1年間勤めてまいりましたが、福祉を取り巻く環境は大きく変化し、荒波にさらされている状況にあるこのような中、園長という大役を仰せつかり身が引き締まる思いでございます。

職員一丸となって利用者様やご家族の立場に立って一人ひとりにその人らしく安心して毎日を過ごして頂けるよう、安らぎのある施設運営に努めて参りたいと考えております。

また、開設して15年の間に培われた地域の皆様との絆を大切に地域との交流、連携に努める所存でございます。

今後とも関係各位、地域の皆様、ボランティアの方々等の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



園長 広瀬 智昭

2 救急法の講習内容が変わりました。

昨年10月の心肺蘇生の国際ガイドラインの変更に伴って救急法基礎講習の内容が一部変更になりました。主には一時救命処置の変更によって、心肺蘇生の方法がより分かりやすく、誰でも速やかに行えるものになりました。

従来の手順： 気道確保 ⇒ 呼吸確認 ⇒ 人工呼吸 ⇒ 胸骨圧迫
新しい手順： 呼吸をみる ⇒ 胸骨圧迫 ⇒ 気道確保 ⇒ 人工呼吸

詳しくはぜひこちらをご覧ください

<http://www.jrc.or.jp/study/safety/> 日本赤十字社 ⇒ 救急法の講習



豊寿園の赤十字救急法指導員が救急法の出張講習に伺います。ぜひお声を！！



3 第4回「もっとクロス！大賞」優秀賞受賞

平成24年2月24日 全社で取り組んでいるもっとクロス大賞の発表がおこなわれました。豊寿園は昨年の東日本大震災での介護チームの活動紹介を通じて日本赤十字社 社会福祉事業のPRにつなげたことでメディア活用部門 優秀賞をいただきました。

これからも、赤十字を知っていただき、地域の皆様と共に生きる赤十字となるよう活動を行っていきたくと考えています。

4 家族会主催勉強会が開催されました。



豊寿園家族会会長の挨拶

3月13日に園内にて豊寿園家族会主催の勉強会が開催され、家族会会員をはじめ地域の方々、ボランティアの方々など42名が参加されました。

今年度の勉強会は東日本大震災を機に防災や災害時に対する災害時の支援「健康生活支援講習短期講習」について行いました。豊寿園から災害医療救護に加え、介護班として延べ7名の職員が現地に行き、その当時の現地の状況や介護チームの活動について報告を行い、講師からは災害が高齢者に及ぼす影響や災害時に気を付けたい病気の症状のほか、タオルケットを使ったガウンの作り方、「ホットタオル」「リラクゼーション」についての演習も行いました。皆さんとても真剣に取り組まれていました。



リラクゼーションで
ハンドマッサージを行います。

5 新しいコーナーを始めます。みなさんの「知りたい」をお寄せ下さい。

「より良い広報紙を作成する為にアンケートにご協力いただき、また沢山のご意見をいただきありがとうございました。アンケートの結果、興味のあるコーナー 1位「あなたと向き合った日々」、2位「介護一口メモ」、3位「豊寿園アルバム」、今後取り上げて欲しいテーマ「介護・福祉について」が上位となり介護や福祉について皆様の関心の高さを感じました。

これからの広報紙をもっと皆様に寄り添った広報紙にしていきたいと思ひ、皆様の「知りたい」をお寄せ頂けたらと思います。

「募集内容

①介護でどんな時にお困りですか？

こんな時に困ってますなどの質問をいただき、豊寿園職員が事例をもとに回答をさせていただきます。

②こんな時に使える制度はないかしら？

福祉制度は色々ありますが知らないこともあるのではないのでしょうか。こんな時に使える制度がないかしら？などの質問を頂き対応できる制度などを紹介したいと思います。

③皆さまからのおすすめ情報

介護に関わらず「地域で気付いた事」や「良かった」などの情報があれば教えてください。

豊寿園エントランスの専用のボックスまたは、メールにてお寄せ下さい。お待ちしております。

Eメール: houjyu.soudan.jrc@cnc.bbq.jp

皆様からのご意見・ご質問をたくさんお待ちしております。

皆さまからのご意見(一部抜粋)

- 介護体験の話はとても興味深かったです。
- 家族の体験記事は感動を与えられ説得力を持って読者の心を打ちます。
- 他の方の介護の日々を読み共感するところ、まだまだ私にはこれから訪れること、皆さんも頑張っておられる私も頑張ろうと思って読ませていただいています。
- 利用者のご家族の様子、日赤の活動等知らなかった事が少しずつ分かってきました。
- 介護者側への助言等、またちょっとしたコツなど載せていただきたい。

HOUJUN × Family あなたと向き合った日々

ご家族様の介護に取り組んだ経験をお話いただくこのコーナー。
今回、奥水係長のインタビューに応じてくださったのは、兼田 絹子さんです。



今回インタビューに応じてくださった兼田 絹子様

「お母様はどのような方でしたか？」

母は、戦前の男尊女卑の教育を受け、それをマスターして実践した人です。私は戦前に生まれ弟は戦後に生まれました。全てにおいて女の私と弟では扱いが違いました。私は「大川橋の下で拾われた」「あなたを産んでから頭痛が始まった」と始終言われました。高校生の頃、転校先の人から「お父さんの連れ子なの？」と聞かれた時は、ショックでした。

「お母様と一緒に住むようになったきっかけは？」

「父が亡くなって、私も一人だと心細いから敷地に家を建てて戻ってきたさい」と言われたんです。私は「お母さんの好きな弟のところにいけば」と言いました。母は、かわいい子に苦労させたくないって言うんですよ。主人に相談して、結局母が八十歳の頃に門司に戻りました。

「いつ頃から認知症の症状がみられましたか？」

私は八十五歳のころから変だなと思ってはいたんですが、近所の人は私達が戻る前からおかしくなると言っていました。「財布がないって言うんです。テレビで仏壇に隠しているのを見たので探すと、本当に仏壇にしまっていました。その後は食器棚、タンスの中の下着を入れていくところ、それから父の着物の袖の中と四〜五か月単位で隠す所が変化しました。その後は布団の間や洗濯機の中。お札が洗われていたりもしていました。最後は、ゴミ箱の中に捨てられて、とうとう私が預かることにしたので、仕事から帰ると毎日財布と通帳がないと訴えられました。預かっている事を伝えると「あなたが盗ったんか」残金を確認し、「あーよかったです。これのくり返します。」



主人は獣医をしていたせいか、母の下の世話を苦にしていなかったようです。きれいにしてもらっても、母は、「あなたにしてみたらわんでも立派な息子がいる。」と暴言を吐くんです。主人に申し訳なくて、でも主人はかっとなってはいる私に「お母さんは病気になるんだよ」と言うんです。

「近所の方に母の認知症の事を知って欲しかったんです。」

気性の激しい人なので、庭先で二人で怒鳴り合っていました。近所の人は、またやってくるって思ってたみたいです。でも、近所の人に知っても良かったんです。そのおかげで母が徘徊しても近所の人で連れてきてくれました。

在宅介護の大変さと、介護はひとりではなく周囲の助けが必要だと言うことが良くわかりました。強い八重さんまだまだお元気なでいてほしいですね。貴重なお話ありがとうございます。



お遍路で山を登られていた頃の大瀬戸八重様

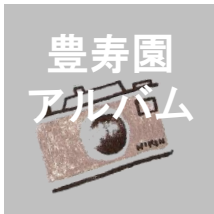


鬼に驚き、思わず笑顔に・・・(^_^)

節分といえば豆まき！
気づけば鬼に挟まれちゃいました。
どっちの鬼に投げようかな？



今年もたくさんの楽しい時を
季節を感じながら
この場所で・・・



どんなに歳を重ねていっても3月3日は女性が主役！お雛様を見ながら和菓子をいただきました。





松ヶ江北小学校交流

インフルエンザの流行により年明けの交流は思うような取り組みができませんでした。今年度最後の交流活動は、園を代表して数名の利用者が松ヶ江北小学校へ訪問し六年生の卒業をお祝いしました。
卒業生と一緒に過ごすひと時の時間を楽しんでいました。

きつと クロス! 計画

やさしい時の中で……赤十字



第3回「介護手技講座」松ヶ江北市民センター



門司中央小学校福祉体験講座

赤十字グッズの紹介 introduce

左袖にも赤十字のロゴがプリントされています。

首のタグは日本赤十字社ロゴが入ったオリジナルです。

背中には「救急法基礎講習教本（英語版）」の目次がプリント。

Model: スタッフNISHIHAMA

赤十字関連グッズには日頃役に立つグッズなどいろいろ揃っていますので、紹介したいと思います。今回は日赤サービスよりCPR Tシャツをご紹介します。どなたでも購入可能です。

日赤サービス
<http://www.nisseki-service.com/>



日本赤十字社

We are volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。

「どこまでも人の為に」をモットーに
私たち「華冠(かかん)グループ」は、創価学会において四十五年前に美容に携わる仕事を持つメンバーの人材グループとして結成され、「どこまでも人の為に」という真心の誠心を学び活動に取り組んでいます。

華冠グループが豊寿園で二か月に一度ボランティアカットをさせて頂き約十四年になります。その場を提供して下さる豊寿園の皆様へ感謝の思いでいっぱいです。

ボランティアカットに行くのと、「歌が大好き」と言われる方はとてもきれいな



2ヶ月に1回ボランティアに来ていただいている「華冠」の皆さん

豊寿園開設以来、ご利用様への「いつまでもキレイにしたい」という気持ちに寄り添ったカットをしていただいています。笑顔の素敵な若さ溢れるボランティアグループです。

声で歌を聴かせてくれたり、人生経験豊富な私たちの先輩の皆さんに貴重なアドバイスをいただいたりと素敵な時間を過ごさせていただいています。

「気持ちいいね」「すつきりした」「ありがとう」と笑顔で、心で返していただけで、「よし！もつときれい」にできるような頑張ろうと力が湧いてきます。本当に心の大切さを教えていただきました。

これからも、さらに皆様に喜んでいただけるように日々挑戦し、成長して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

Houjuen Experience report

豊寿園体験レポート



豊寿園のご利用者様の日常を紹介するコーナーです。今回は厨房をケアプランセンター管理者の城戸さんが体験してきました。

「美味しい」笑顔が見たくて毎日頑張っています。

厨房の扉を開けると、中から甘酸っぱいお音が・・・
今日は、毎月一回の「変わりご飯」の日でちらし寿司を作っている最中でした。

厨房では毎日、交替で七名の職員が朝六時から朝食を作り始め、夕食が出来上がる十七時三〇分までに三四〇食分の食事を作っています。厨房責任者の久門主任は長年民間のホテルなどで腕を磨いた正真正銘の料理の達人です。この主任の指導のもとテクニックを駆使して料理を作るとともに、温かい物は温かく、冷たい物は冷たい状態で利用者の方々に提供し、少しでも美味しく食べていただけるよう、時間と戦いながら全員が協力して取り組んでいます。

季節の食材を使って料理を食べていただき季節を感じていただくようにしています。

さあ、ラストパート。みんなの美味しい笑顔のために・・・



福祉一口メモ

ご存知ですか？

ふくおかまごころ駐車場 制度
平成24年2月15日から制度が開始になりました。

「ふくおか・まごころ駐車場」とは？

障害のある方や高齢の方、妊産婦の方など、車の乗り降りや移動に配慮の必要な方が、公共施設、障害者等用の駐車場などに車をとめ、安全かつ安心して施設を利用できるように支援する制度です。

「ふくおか・まごころ駐車場」の目印ステッカーが掲示されている駐車場の利用には、利用証を車内に掲示が必要です。利用証の発行には、申請書の提出と確認書類の提示が必要となります。



障害や身体状況によりカードの色が違います。

「ふくおか・まごころ駐車場制度」は、皆様の思いやりのところで成り立つ制度です。すべての人々が快適に外出できるようご協力をお願いします。

問い合わせ・手続き

住所地の各区役所保健福祉課

または県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

介護一口メモ

頑張らない介護を



日本の在宅介護の現場では、介護をする側にも介護を受ける側にも「頑張らなくてはい」という意識が強く働きすぎる傾向があります。その背景にあるのは、「介護を頑張ることが愛情表現である。」という思い込みや、「よき介護者でなくてはならない」という周囲からのプレッシャーがあります。

息抜きが毎日の笑顔を作ります

「頑張る」という一義的な概念は、先の見えない敵しい「在宅介護」の中では、介護をする側、受ける側の双方に大きな精神的プレッシャーを与え、必ずしもいい影響を与えてはいないのではないかとも考えられます。

頑張りが過ぎはストレスのもとです。ストレスが溜まると、つい難しいことを言ってしまうたり、表情に出たりと、介護をする側の関係を悪くしてしまいがちになります。それがまた、次のストレスのもとになってしまいます。適度な息抜きをして、笑顔を作れるようにしましょう。

頑張らない介護5原則

- 1 1人で介護を背負い込まない
- 2 積極的にサービスを利用する
- 3 現状を認識し、受容する
- 4 介護される側の気持ちを理解し、尊重する
- 5 出来るだけ楽な介護のやり方を考える

文献引用

「がんばらない介護生活を考える会」
<http://www.gambaranaikaigo.com/>

お知らせ

❁ 入所申込の締切が迫っています。

北九州市内の特別養護老人ホームの入所申込は4月末までとなっています。

それまでにお申込みいただいた方々は、今年6月1日からの半年間、希望施設に空きが出るのをお待ち頂くこととなります。特養への入所をご希望される方はお早めに希望施設にてお申込み手続きを御済ませください。

なお豊寿園にお申込みいただいた方の待機順位については、6月初めに文章にてご案内致します。また、待機の進捗はホームページで随時お知らせ致します。

豊寿園ホームページ<http://nissekihoujuen.jp/>

❁ 職員の異動

【異動】

園長 榎本幹生

⇒ 日本赤十字社 福岡県支部へ

事務課長 横山慶一

⇒ 特別養護老人ホーム大寿園より

地域ぶらり情報

パリの雑貨とオープンカフェでお食事を・・・

豊寿園に勤務する職員がお勧めの地域情報を紹介するコーナーです。

今回ご紹介するのは、機能訓練指導員 松尾彩子さんお勧めのカフェ **CAFE UMINeko** です。



門司港駅を降りてすぐ右手に、レトロな雰囲気のある『ウミネコカフェ』があります。レトロ地区に馴染んだお店ですが、昨年の秋オープンしたばかりです。入口に入って左がフ

ランスの素敵な雑貨、右手がカフェスペースになっていて、おしゃれなオーナーが雑貨についてのお話をしてくれます。雑貨はどれもこだわりの品ですが、特に食器は日本で滅多に手に入らないレアなもので、見ていただけでうっとり幸せな気分になります。

カフェのメニューもこだわっていて、本当に美味しい！おすすめは、ガレットです。ガレットとは、ブルターニュ地方の郷土料理で、そば粉で作ったクレープに卵やチーズなどをトッピングしたお料理です。このガレットはまず、大きさにビックリ！おなかいっぱいガ

レットを堪能できます。それにフランスのJokerのジュースを飲めば気分はパリジェンヌ。門司港近辺に来られた際にはぜひお立ち寄りいただいて、フランス気分になってみて下さい。



○編集後記(editorial note)

春爛漫、本年は桜の花の開花が遅れ、この広報紙編集の頃には、桜の花が満開となっています。全国花盛りのおようです。

さて、この広報紙の作成についてよくお褒めの言葉をいただきますが、この編集については広報委員14人でそれぞれ各コーナーを担当し、写真撮影から取材、すべての記事が職員の手作りで、仕上げの構成も職員が行い、印刷だけを業者の方をお願いして作成しています。職員皆日々の忙しい中で心ひとつに団結して、皆様に読んでいただける、色々楽しんでもらえる広報紙の作成に心がけています。

どうぞこれからも色々なご意見をどしどしお寄せ下さい。よろしくお祈りします。

広報委員 城戸匡美

CAFE UMINeko

北九州市門司区西海岸1丁目
6番2号
TEL 093-321-2101
定休日 火曜日

HOUJYUEN X KOREA

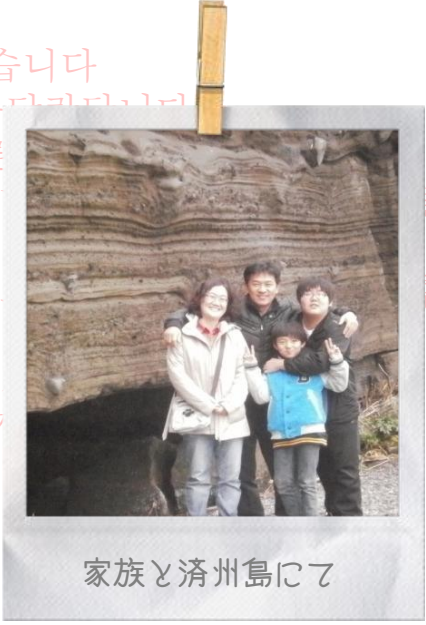
전혀 연관성 없는 업무를 겸직으로 하다보니 때론 정신이 없을때도 있습니다
우선 좋은 소식이 하나 있습니다
신사업추진단에서 노인요양시설에 관한 건입니다
이번에 서울시 중구청에서 노인요양시설을 위탁 공모하게 사업에 저희가 참여하게 되



서울 적십자사가 운영하는 것으로 확정되었습니다
8月に大韓赤十字社初の施設がオープンします
대한 8월에 대한 적십자사의 새로운 시설이 오픈하겠습니다.
희이 되었습니다
良い便りが一つあります。
それは、新事業推進団から推進してきた老人療養施設に関することです。

この度ソウル市中区役所で老人療養施設を委託公募する事業に私どもが参加するようになりました。
先週に最終審査プレゼンテーションがあり、大韓赤十字社ソウル支社が運営することに確定しました。
大韓赤十字社では初めて試みる事なので、とても心配しましたがみなさんのご協力とご理解のおかげだと思
います。特に昨年福岡県支部の豊寿園、やすらぎの郷などを訪問したことが大きな経験になりました。
今年8月の開館の予定で、規模は60人です。
施設はとても小さいですが、初めて実施する事業なのでとても心配で心細いです。
豊寿園のプログラムがとても役に立つと思います。

久しぶりに家族と済州島に行ってきた後、急にもっと忙しくなりました。老人性疾患のお年寄りのための老人
療養施設の運営がこれからどうなるか、とてもわくわくもしています。
私たち老人療養施設のプログラムと豊寿園のプログラムの適切なベンチマーキング (Benchmarking) が必要だ
と思います。関心を持って暖かく見守ってください。



家族と済州島にて

先日済州島に家族旅行に行ってきました。風も多くて石も多
い済州島はソウルの景色とは全く違っていました。3度目の済
州島旅行でしたが、行く度に新鮮で私たちに違う姿を見せてく
れます。
漢拏山の周りの雪で登山が駄目になり、ハイキングも強い風
で大変でした。海波そりて風までも子供たちには面白くて楽し
みが湧く体験だったようです。
私はまだ旅疲れが消えていないようです。ふと窓の外の風景
や出勤途中のオリンピック公園が不慣れに感じられます(^-^)
2012. 2.28 李 顯淑

2012. 2. 28(화) 이현숙 드림



「世界とまったくクロス計画」始動！

세계와 더욱 크로스 계획 시동

これまで豊寿園は「職員とまったくクロス」、「地域とまったくクロス」のテーマで様々なことに取り組んできました。これからは「世界とまったくクロス！」もテーマの一つに加えるべく、大韓赤十字社ソウル支社の新事業推進団団長・李顯淑さんを通じ、韓国との交流の様子をお伝えしていきたいと思います。

昨年6月、韓国・ソウルでの老人療養施設開設を目指して大韓赤十字社の新事業推進団の方々が豊寿園に視察に來られました。韓国での施設に対するイメージが日本と違うことや、高齢者介護の意識の違いなど韓国の介護について私たちも学ぶことができました。

この事が御縁となり新事業推進事業団団長の李さんとはその後も豊寿園管理栄養士の長崎さんとメールでのやりとりが続いています。

李さんはいつも私たちにとても興味深いお話をしてくださり、楽しませてくださいます。そこで、これから一年間李さんに特派員役をお願いして韓国の赤十字社のことや韓国についてご紹介していただく企画をスタートすることになりました。みなさんお楽しみに！

HOJJYUEN X KOREA

호주원 국제교류스타트

안녕하세요 기다리실거 같아 메일을 보내드립니다

차분히 앉아 잘 정리된 글이랑 사진을 보내드리고 싶었는데 사진을 아직 파일화하지 못했네요

그래서 우선 Profile

2つの仕事を掛け持ちしています

私は大韓赤十字社ソウル支社に勤める李と申します。

私の主な仕事は、新事業推進団と赤十字収品センターの仕事です。

Name 李顯淑 (Lee Hyun-Sook)

新事業推進団は老人療養施設を市より赤十字社に委託を受けることができるようにすることです。

Work 大韓赤十字社ソウル支社

日本赤十字社の豊寿園のような事業を私たちの赤十字社でも進めようとしているところです。

新事業推進団団長
赤十字収品センター所長

赤十字収品センターの業務は、大韓赤十字社で必要とする各種赤十字関連用品、記念品、教材、団体服を販売する仕事です。



Family 夫・男の子2人

全く関連性のない業務を兼職にしてみると、時にははとも忙しく混乱することもあります。

전혀 관련 없는 업무를 겸직으로 하다보니 때론 정신이 없을때도 있습니다

2012

Vol. 15

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJJUEN

FRUIT FULL TREE



Director of photography kyoumi kido

豊かな樹 ・ 豊寿園

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society